

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1450 号

Factors affecting employment status of home caregivers of elderly people

(老年者の在宅介護者の就労に影響を与える要因)

仁科 聖子 (にしな きよこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、高齢者人口の増加とともに就労世代が介護と就労を両立している現状があることから、在宅介護者の就労に影響を与える要因について検討したものである。

介護開始前に就労していた 98 名の介護者を対象として、被介護者の要介護度、介護者の年齢、介護時間、家族の協力、訪問看護サービスの利用が就労に与える影響を分析している。これまで、在宅介護者で介護者が就労時間の減少および就労の変更が起こることは報告されているが、就労に影響を与える要因を検討した報告は少ない。

本論文は、介護時間が離職者では、就労者より介護時間が長く、かつ要介護度と介護時間に相関があることから、被介護者の要介護度が重度になると、介護時間が長くなり介護者の離職に至ることを示した。また、介護者の年齢が若いことおよび家族の介護協力は離職を防止すると推定した。以上から、本研究は、介護者が就労を継続するためにインフォーマルな支援や社会的なサービスが必要であるという、社会的に重要な知見を提供している。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。